学校番号	T0207

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	文学国語	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	「文学国語」　（数研出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・欠席することなく、積極的な態度で授業に臨むこと。
・授業は、主にプリントを配付して行う。配付したプリントは必ず保管すること。
・板書事項は必ず記入し、保管の上復習する態度を養うこと。
・定期考査前には、試験範囲を指示するので、ポイントをしっかりおさえて考査に備えること。

2　学習の到達目標

・社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、言語文化に対する理解を深めている。
・論理的に考える力や他者に伝える力、物語の背景や登場人物の心情を豊かに想像する力を伸ばし、自分の人生に活かす力を身につけている。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉をとおして他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	深く共感したり、豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり、深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉をとおして他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期（4・5・6・7・9月）	詩歌 ［教材］ 「小諸なる古城のほとり」 「永訣の朝」	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 b［ 読 ］：「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。 c：粘り強く作品に表現された内容を把握し、作品の主題とそれを支える優れた表現を見つけようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート 授業内活動
	第一章　平成の小説 ［教材］ 「鍋セット」	a：文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解している。 b［ 読 ］：読むことにおいて、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特徴について的確に捉えている。 c：粘り強く物語の展開を把握し、登場人物の心情を読み取っている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート 授業内活動
	第一章　昭和後期の小説 ［教材］ 「ナイン」	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b［ 読 ］：「読むこと」において、場面の展開を理解し、作品の構成を把握し、登場人物のそれぞれの人間関係について理解している。 c：筆者についての知識を持っている。日本の高度成長と新道の変貌との関連を知り、作品の成立背景を理解している。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート 授業内活動
	第一章　昭和初期の小説 ［教材］ 「山椒魚」	a：文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 b［ 読 ］：「読むこと」において、 c：進んで本文に描かれた出来事や会話、行動の描写を捉え、登場人物の心情とその変化を読み取り、主題について考えようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート 授業内活動
後期（10・11・12・1・2・3月）	第一章　詩歌 ［教材］ 「発車」 俳句 短歌	a：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b［ 書 ］：書くことにおいて、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 c：粘り強く作品に表現された内容を把握し、作品の主題とそれを支える優れた表現を見つけようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート 授業内活動
	第二章　昭和中期の小説 ［教材］ 「赤い繭」	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 b［ 読 ］：読むことにおいて、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特徴について的確に捉えている。 c：進んで本文に描かれた出来事や会話、行動の描写を捉え、登場人物の心情とその変化を読み取り、主題について考えようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート 授業内活動

	第二章　大正の小説 ［教材］ 「檸檬」	a:文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解している。 b[　読　]:「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。 c:粘り強く「私」の心情の描かれ方について考え、話し合おうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート 授業内活動
	第二章　明治の小説 ［教材］ 「舞姫」	a:文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 b[　読　]:「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:粘り強く主人公の考え方や行動について、時代背景を踏まえながら読み取り、自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート 授業内活動

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話、聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　１００　）時間